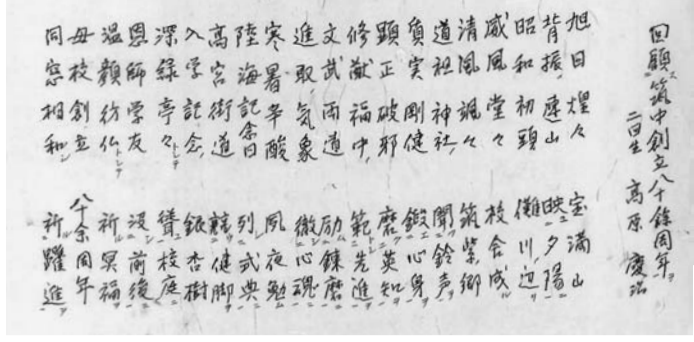


**高原さん自筆の漢詩
同窓会事務局に贈る**

筑中2回常任幹事高原慶治



高原さん自筆の漢詩

さん(94)から過日、事務局に自作の漢詩を添えた手紙をいただきました。手紙の一部と漢詩を掲載いたします。

筑紫丘同窓会の発展にいろいろと御尽力のことと存じます。

小生、幹事をいたしてはいますが、高齢で、難聴のため、諸会合に欠席しています。あしからず御許容ください。

幹事会や総会の通知のたびに往昔の筑中の校舎風景と学友をしのんでいます。

その懐旧に同封の漢詩を拙作いたしました。会報の余白でも掲載していただければ幸いです。

平成二十二年十月七日
筑中二回生 高原慶治
筑紫丘同窓会事務局殿

国境石、領地争いの歴史刻む

中8回・川崎さん、12年かけ発見

「二つの石が睨みあうように立ち並び、凄味を持って迫ってくるさまに思わず息をのんだ」。国境石(くにざかいし)を見つけた時、寸土を争う峻厳奇烈な非情さを中8回の川崎幹二さん(那珂川町片縄北)は生前、思い出の糸車を回して話していた。3年前不帰の客に。87歳。

川崎さんは旧制久留米高工の出身。中学や高校で理数系を教える理科マン。退職後、町の社会教育指導員を務めて日本史に興味を持った。

清廉、慈眼豊頼な人だった。**すべてが師**

生涯学習の講習で、講師の話を聴きながら、「自分以外はすべて師」と貪欲に知識を吸収していった。

肥前に軍配がかる

川崎さんが町郷土史研究会(35人)の会長をしていた時、江戸時代初期の天和3年(1683)から約10年間、筑前・肥前両国の農民の間で脊振弁財天岳の帰属をめぐる争いが起きていることを知り、興味を持った。

この紛争では幕府の国境検分使が乗り込み、元禄6年(1693)裁定の末、黒田藩の全面敗訴に終わる。藩の

筑中に銀翼を振り、去った先輩 昭和19年春、忘れ得ぬ光景



安川 孝さん

陽春の好季。凱風快晴の日、それはあった。

昭和19年、筑中2年生になつたばかり。2時限の授業直前、組担任の園田平助教官が慌しく入って来られた。

「航空兵になつた先輩が南方に転戦する。別れに学校に立ち寄るので、帽子を持ち運動場に集合せよ」と指示された。

全校生徒が運動場で人文字の校章「中」をつくり、待つことしばし。そのうち一機の



塩原時代の筑中校舎

その際、体を乗り出して手戦闘機が爆音を轟かして飛来、銀翼の日の丸も鮮やかに旋回しては急降下、急上昇を。さらに超低空での旋回を繰り返した。

戦闘機が爆音を轟かして飛来、銀翼の日の丸も鮮やかに旋回しては急降下、急上昇を。さらに超低空での旋回を繰り返した。

その際、体を乗り出して手戦闘機が爆音を轟かして飛来、銀翼の日の丸も鮮やかに旋回しては急降下、急上昇を。さらに超低空での旋回を繰り返した。

その際、体を乗り出して手戦闘機が爆音を轟かして飛来、銀翼の日の丸も鮮やかに旋回しては急降下、急上昇を。さらに超低空での旋回を繰り返した。

さらに博搜すると、その3年後の元禄9年、今度は福岡市から那珂川町を経て佐賀県神埼市に至る坂本峠、札木山など当時の那珂郡五ヶ山村の離れ村と、神埼郡小川内村とで、農民の間に激しい国境紛争が起きていた。この時も幕府の手を借り、肥前方三分の二、筑前方三分の一を改めるとし図面まで取り交わして収斂した。

さらに博搜すると、その3年後の元禄9年、今度は福岡市から那珂川町を経て佐賀県神埼市に至る坂本峠、札木山など当時の那珂郡五ヶ山村の離れ村と、神埼郡小川内村とで、農民の間に激しい国境紛争が起きていた。この時も幕府の手を借り、肥前方三分の二、筑前方三分の一を改めるとし図面まで取り交わして収斂した。

さらに博搜すると、その3年後の元禄9年、今度は福岡市から那珂川町を経て佐賀県神埼市に至る坂本峠、札木山など当時の那珂郡五ヶ山村の離れ村と、神埼郡小川内村とで、農民の間に激しい国境紛争が起きていた。この時も幕府の手を借り、肥前方三分の二、筑前方三分の一を改めるとし図面まで取り交わして収斂した。

さらに博搜すると、その3年後の元禄9年、今度は福岡市から那珂川町を経て佐賀県神埼市に至る坂本峠、札木山など当時の那珂郡五ヶ山村の離れ村と、神埼郡小川内村とで、農民の間に激しい国境紛争が起きていた。この時も幕府の手を借り、肥前方三分の二、筑前方三分の一を改めるとし図面まで取り交わして収斂した。

さらに博搜すると、その3年後の元禄9年、今度は福岡市から那珂川町を経て佐賀県神埼市に至る坂本峠、札木山など当時の那珂郡五ヶ山村の離れ村と、神埼郡小川内村とで、農民の間に激しい国境紛争が起きていた。この時も幕府の手を借り、肥前方三分の二、筑前方三分の一を改めるとし図面まで取り交わして収斂した。

さらに博搜すると、その3年後の元禄9年、今度は福岡市から那珂川町を経て佐賀県神埼市に至る坂本峠、札木山など当時の那珂郡五ヶ山村の離れ村と、神埼郡小川内村とで、農民の間に激しい国境紛争が起きていた。この時も幕府の手を借り、肥前方三分の二、筑前方三分の一を改めるとし図面まで取り交わして収斂した。



昼なお暗い山中にある国境石と、ありし日の川崎さん。

平成になつて町郷土史研究会では、江戸期末に編まれた「筑前国郡絵図」を頼りに何度も現地に足を踏み入れたが、その痕跡は分か

平成になつて町郷土史研究会では、江戸期末に編まれた「筑前国郡絵図」を頼りに何度も現地に足を踏み入れたが、その痕跡は分か

平成になつて町郷土史研究会では、江戸期末に編まれた「筑前国郡絵図」を頼りに何度も現地に足を踏み入れたが、その痕跡は分か

平成になつて町郷土史研究会では、江戸期末に編まれた「筑前国郡絵図」を頼りに何度も現地に足を踏み入れたが、その痕跡は分か

平成になつて町郷土史研究会では、江戸期末に編まれた「筑前国郡絵図」を頼りに何度も現地に足を踏み入れたが、その痕跡は分か

を振る航空服に白いマフラーの先輩。飛行眼鏡がきらきらと反射して印象的だった。われわれは夢中で帽子を振り、応えたがそのうちに翼を大きく振って、南の空へ消え去った。それは崇高で感動的であり、えあつた。

終戦から65年。多発する犯罪、平和ボケの中で失われた愛国心、喪失した戦前の麗しい日本の価値観。国を思い若い血潮を散らせていった諸先輩の霊に対して、申し訳ないと思つている。

(高1 安川 孝)

この航空兵は中14回進卒の山本實さん。山本さんは生還を期していなかったが、幸いにも無事帰国できた。戦後は教職に就き住吉中学校の校長などを、また筑中同期会・充志の幹事などもした。(大谷)



受章した松本壽通さん

小児科医からNPO代表 松本さんに 医療功労章

「受賞なんて考えてもいなかったのに。小児科の臨床医として長年小児医療にかかわり、これが機縁で子どもの虐待防止など、幼児の心の問題に取り組んできたことが認められたのでしよう。昨年1月末、松本壽通さん(80)は厚生労働省などの医療功労章を受章。喜びを隠しきれなかった。

昭和23年筑中最後の18回生。旧制福岡に進学、九州大医学部を出て米国に留学。帰国後、九大講師や北九州市立小倉病院小児科部長を経て、45年早良区西新で小児科医を開業する。開院の頃は一日約150人が詰めかけた。以来40年に及ぶが、松本さんは単なる一介の町医では終わらない。日々の診療で子どもの虐待が話題となり、その原因をつきつめると、6割が母親の育児不安にあつた。

これに対して小児科医や看護師、保健師などで母子を支援するNPOをつくり、その代表者になり、ステータスを高めた。「体の不調を言葉にできない子どもの代弁者」と言いきる。

松本さんは九州小児医会の会長をしていて、論文の発表など老いを知らない榊風沐雨の活躍だ。(中18 M・O)

部を出て米国に留学。帰国後、九大講師や北九州市立小倉病院小児科部長を経て、45年早良区西新で小児科医を開業する。開院の頃は一日約150人が詰めかけた。以来40年に及ぶが、松本さんは単なる一介の町医では終わらない。日々の診療で子どもの虐待が話題となり、その原因をつきつめると、6割が母親の育児不安にあつた。

これに対して小児科医や看護師、保健師などで母子を支援するNPOをつくり、その代表者になり、ステータスを高めた。「体の不調を言葉にできない子どもの代弁者」と言いきる。

松本さんは九州小児医会の会長をしていて、論文の発表など老いを知らない榊風沐雨の活躍だ。(中18 M・O)

松本さんは九州小児医会の会長をしていて、論文の発表など老いを知らない榊風沐雨の活躍だ。(中18 M・O)

松本さんは九州小児医会の会長をしていて、論文の発表など老いを知らない榊風沐雨の活躍だ。(中18 M・O)

宴座

昨秋の早慶戦で勝利した斎藤投手が「自分は良い仲間とライバルを持つていたい」と話していた。

友人と一緒にテレビを見ていたので、「どこまでも優等生だね」と言いつつも、そこまですっきりと歯切れの良さで少し感動を覚えた。

営業職ではないが、人との出会いが多い仕事をしている。社会に出て30年も経つと、特に同じ学年の仲間助けられた思いが強い。

企業に勤める仲間や、この前は、少し言いつつも、当局の調査もソフトにしてもらつたように思う。在学中は話をしたことがなくても、必ず共通の友人がいて、すぐに打ち解けるのである。

東京や大阪に行った仲間の動向を新聞の人事異動欄などで見かけると、その頑張りが大いに励みになるし、無理をするなよと思う時もある。

先だつても母校を同じくする娘さんが結婚式を探しているという、仲間である父親から相談を受けた。

大学を出て間もない二人にお会いしたら、二人が同級生であることが分かった。結局、わがホテルでの挙式にはならなかつたけれど、実は彼女の両親も同級生同士なのだ。この春には二世帯続きの同級生夫婦が誕生することになる。

(高26 中山)

(高26 中山)